

マネ知識

日常生活でケガをすることはありませんか？

ここでは子どもの日常生活における事故の予防と応急処置について紹介したいと思います。

まず、家庭内ではどんな事故が多いのかランキングで紹介します。

家庭内での事故ランキング

1位 溺水

2位 窒息

3位 転倒・転落

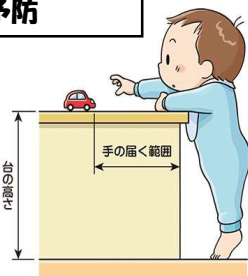
その他. 火傷 誤飲



<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/suii09/deth18.html>

厚生労働省より

誤飲と転倒転落の予防



子供の手の届く範囲は
「台の高さ+手の届く範囲」

1歳児：約 90cm
2歳児：約 110cm
3歳児：約 120cm

年齢によって
手の届く範囲
が違う

食品の場合
細かく切って食べさせてあげる
食品でない場合
子どもの手の届く範囲を理解し、
なるべく子どもが手の届かない
場所にものを置く

幼児が誤飲しやすいもの
・フロック等の小さいおもちゃ
・お餅
・洗剤(ジェルボール)
etc.

※トイレトーパーの芯の中を
通るものは誤飲の危険性がある！！

https://www.coopsapporo-cs.jp/premium_service/detail/316

政府広報オンラインより

No 9 日常生活での子どもの 事故の予防と応急処置

誤飲してしまった時の対処法

背部叩打法

背中をたたか、
腕に乗せて指2本で胸の真ん中を数回強く圧迫する。



溺水の予防

子どもは溺れていることに気づかずに静かに沈んでしまう。
子どもが溺水しないために
水遊びやお風呂に入る際は必ず保護者の監視の下でする。

胸骨圧迫

強く 少なくとも
5cm沈む程度

速く 1分間に少なくとも
100回のテンポ

圧迫解除
元の高さに戻す

絶え間なく



http://www.schooman119.jp/img/flow/flow05_2r.gif

まとめ

調べてみて、子どもにとって家庭内で
危険な場所はたくさんあることが分かりました。
その中でもお風呂場は特に危険であるため、
水遊びやお風呂に入る際は小さな子供から
目を離さないようにしようと思いました。
僕たちと一緒に小さな命を守っていきましょう。